



新型コロナウイルス感染症 県内 Stage2 継続中!

令和3年6月30日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和3年第25週分・6月21日～6月27日)

《インフォメーション》

●新型コロナウイルス感染症

国内の新型コロナウイルス感染者数は、6月27日時点で795,756例となり、14,669例の死亡が確認されています。全国の新規感染者数(図;折れ線グラフ)はやや増加してきています。6月20日に沖縄県を除く9都道府県の緊急事態宣言が解除され、そのうち7都道府県はまん延防止等重点措置の対象となりました。現在、まん延防止等重点措置はこれらを含む10都道府県で実施されています。東京都では新規陽性者数の再増加傾向がみられ、感染再拡大が懸念されています。

県内の今週の新規感染者数は20例で、減少傾向です。6月27日時点の累積感染者数は2,037例になりました(図;棒グラフ)。新規感染者数及び入院者数は減少傾向ですが、ステージ2の警戒レベルは継続されています。また、県内各市町村でワクチン接種が進んでいますが、接種後もこれまで通りの感染対策が必要です。

県内では、5月下旬には新規陽性例の全てがN501Y陽性の変異株(ゲノム解析では英国由来のアルファ株*)になりました。アルファ株より感染性が高いとされるインド由来の変異株(デルタ株*)が国内で急速に拡散することが懸念されているため、衛生研究所は変異株検査を、デルタ株を検出するためのL452R変異検査へ変更しました。6月27日時点で県内ではL452R変異は検出されていません。変異株に対しても感染拡大を防ぐための手指消毒やマスク着用、十分な換気、対人距離を保つといった個人が取り組むべき感染対策は同じです。感染拡大を防ぐため、高い緊張感を持って行動していただくことが重要です。

発熱等の症状で医療機関を受診する際には、電話相談のうえ、かかりつけ医等の指示に従ってください。相談する医療機関に迷う場合は、受診・相談センター(076-444-4691;24時間対応)にご連絡ください。

* WHO(世界保健機関)による呼称

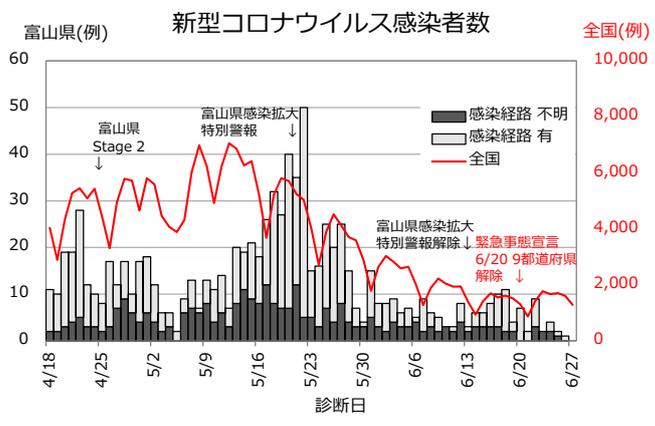
《全数報告の感染症》

- 新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 20件
- 二類感染症 結核 6件 (①第24週診断分:80歳代、男性 ②30歳代、男性 ③40歳代、女性 ④80歳代、男性 ⑤80歳代、女性 ⑥90歳代、女性)
- 四類感染症 レジオネラ症 2件 (①70歳代、男性、肺炎型 ②90歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1件 (第24週診断分:80歳代、女性)
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 (第24週診断分:80歳代、男性、G群)
- 侵襲性肺炎球菌感染症 1件 (60歳代、男性)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	RSウイルス感染症	8.79(↑)	7.97
2位	感染性胃腸炎	3.28(↓)	11.93
3位	咽頭結膜熱	0.38(↓)	0.41
4位	突発性発しん	0.31(↓)	0.34
5位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.28(↑)	0.21
6位	細菌性髄膜炎	0.20(↑)	0.00

RSウイルス感染症が全国的に増えています! 3歳未満の幼児に多く、症状は発熱、鼻汁。2~3割は気管支炎、肺炎に進展。生後6ヵ月以内、または基礎疾患があると重症化しやすく、注意が必要です。



○感染症発生動向調査報告状況（令和3年第25週 令和3年6月21日～令和3年6月27日）

分類	疾患	今週報告分（第25週）						累積報告数（令和3年第1週（1月4日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	4	5			11		20	115	133	355	65	757	32	1,457
二類感染症	結核		1	1		3		5	8	4	20	9	22		63
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症										3	1	1		5
四類感染症	E型肝炎								1				1		2
	つつが虫病								1						1
	レジオネラ症			2				2		1	7		1		9
五類感染症	ウイルス性肝炎								2						2
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										1	1	2		4
	急性脳炎										1				1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症										1		2		3
	後天性免疫不全症候群								1				1		2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症										1	1	1		3
	侵襲性肺炎球菌感染症			1				1	1		2		10		13
	水痘（入院例）												1		1
	梅毒								1	1	3		12		17
	播種性クリプトコックス症												1		1
	破傷風										1			1	
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ										5				5
	RSウイルス感染症	5	6	196	29	19		255	97	110	1,057	71	729		2,064
		1.25	2.00	24.50	7.25	1.90		8.79							
	咽頭結膜熱	2		4		5		11	24	28	123	2	86		263
		0.50		0.50		0.50		0.38							
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1		3	1	3		8	57	32	421	76	180		766
		0.25		0.38	0.25	0.30		0.28							
	感染性胃腸炎	17	9	36	2	31		95	475	240	359	165	958		2,197
		4.25	3.00	4.50	0.50	3.10		3.28							
	水痘			2		2		4	1	6	20	5	26		58
				0.25		0.20		0.14							
	手足口病	1				1		2	3		10	1	6		20
		0.25				0.10		0.07							
	伝染性紅斑			1				1		1	6	1	12		20
				0.13				0.03							
	突発性発しん	2	2	2	2	1		9	35	19	88	38	75		255
		0.50	0.67	0.25	0.50	0.10		0.31							
ヘルパンギーナ			1				1	16	1	2		1		20	
			0.13				0.03								
流行性耳下腺炎								2	2	5	3	4		16	
流行性角結膜炎									1					1	
細菌性髄膜炎					1		1					2		2	
					1.00		0.20						2	2	
無菌性髄膜炎												2		2	
マイコプラズマ肺炎										1	7	1		9	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）								1						1	
インフルエンザによる入院患者（※2）											1	8		9	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。 ※1 その他は県外、居住地非公表分です。 ※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和2年第36週(8月31日)～の集計です